



THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBE PORT
KOBE PORT

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Chartered May 8, 1988

神戸ポートワイズメンズクラブ

〒650-0001 神戸市中央区北野町 1-1

新神戸利エンル7ベニュー 2F

神戸 YMCA 本部事務局

Tel 078-241-7201

Fax 078-241-7479

E-Mail: houshi@kobeYMCA.org

http://www.kobeYMCA.org/

第1例会 第2木曜日 7:00-9:00P.M.

第2例会 第4木曜日 7:00-9:00P.M.

第 342 号

2016年 6月

神戸ポートクラブ会長 (CP) 廣瀬献児 『「ワイズを未来へつなげよう！」 “Y's for future!”』

国際会長(IP) Wichian Boonmapajorn(タイ) “Mission with Faith” 「信念のあるミッション」
アジア地域会長(AP) Edward K.W.Ong (シンガポール) “Through Love, Serve” 「愛を持って奉仕しよう」
西日本区理事(RD) 遠藤道寛(泉北) 「あなたならできる！きっとできる」 “You can do it! Yes, you can”
六甲部部长(DG) 進藤啓介(神戸) 「YMCAと共に」 《人を育て、地域に仕える》

6月強調月間 評価・計画

目標に向かって突き進めましたでしょうか。出来なかったことは
次年度に頑張りましょう。出来たことは褒めましょう。

遠藤通寛理事(大阪泉北クラブ)

<6月第1例会>

廣瀬献児会長期最後の例会です。1年間の活動を振り返って反省、評価をして次期大野智恵体制につなげましょう。

<記>

日 時：2016年6月9日(木) 19:00~21:00

場 所：三宮ターミナルホテル 4階六甲の間

開会点鐘：廣瀬献児会長

聖句/祈祷：西澤他喜衛チャプレン

会食：

- ・2015-16年度の評価反省、会長及び事業委員長
- ・2016-17年度について考えます
- ・6月の誕生者お祝い及び諸連絡
- ・今月のうた
- ・閉会点鐘：廣瀬献児会長

<6月のお誕生者>

1日：水野 雄二(ワイズ)

<5月出席状況>

出席率：80.0%

(出席総数) 16/20 (在籍会員数)

出席数：ワイズ 16 (内メイクアップ5)

メネット1、ゲスト3、ビジター0 計20名

<2015年度のファンド・累計>

	5月	累計
ニコニコ	3,000 円	35,000円
物品販売	0 円	28,685 円

<今後の予定>

<6月第1例会>

6月9日(木)19:00~ 三宮ターミナルホテル

<6月第2例会>

6月23日(木)19:00~ 神戸市勤労会館 408室

<六甲部臨時評議会>

6月18日(土) ユースプラザ KOBE・EAST

<西日本区大会>

6月25-26日 大阪・松下IMPホール

<西日本区役員会・代議員会>

6月25日 大阪・松下IMPホール

<7月第1例会>

7月14日(木)19:00~ 三宮ターミナルホテル

食事代として各自 2,000円ご負担頂きます。正会員の欠席、及びメネット・ゲスト他出席は前々日迄に坂本連絡主事宛連絡下さい。

<2016年6月の聖句>

「だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。」

(コリントの信徒への手紙 I-11:26)

6月に入り梅雨の季節となった。毎年訪れる四季の一つ。雨が降り続いて、暫くすれば真夏が来ることに希望を繋ぐ。教会にも四季折々ならぬ毎年の「教会歴」がある。12月のクリスマス(降誕祭)、4月のイースター(復活祭)、5月のペンテコステ(聖霊降臨祭)の三大祝祭である。ここには年間を通じて喜び・苦難・希望が織り込められている。

四季は自然のもたらす恵みを肌で感じるが、教会歴は、神の愛を心で想起し、感謝を持って受けとめる。特に長く冬の厳しい季節を抜けて、春の息吹を全身で感じる喜びは、十字架の受難を通り越して復活の喜びに出会う姿に重なる。キリスト教は、四季の自然を肌で感じるように、教会歴の出来事を心で受け止めることでもある。

(Rev. Nishizawa)

2015-2016年度クラブ役員

【会長】 廣瀬献児 【副会長】 西澤他喜衛 【書記】 山田滋己 【会計】 丹羽和子 【監事】 山崎往夫 【連絡主事】 坂本庸秀

「ワイズの取り組みは素晴らしい」

私が会長の役目をいただいて1年、振り返って抱いた感想です。

会長になってから、神戸ポートのみならず他クラブの方々とより深く交流する機会が増えましたが、それを通じて多くの方々の様々な取り組みを知りました。YMCA はもちろん、厳しい環境に置かれている子どもや、今の社会で生きることの困難を覚えている方々の支援など、社会で必要なのに置き去りにされがちなのに、皆さん思いを持って取り組まれてこられたことを伺い、こんなワイズが増えたらもっと良い社会になっていくのではと感じました。

同時に少し自信を失っているような、元気がないような、そんな空気を感じたこともありました。クラブの高齢化や会員数の問題、これまでのやり方がうまくいなくて困ったということもありました。確かに全てが順風満帆という状況ではないかもしれません。

だけど私は「ワイズは素晴らしいことをやっているんだ!」ともっと自信を持ちたいと思いました。まずそれは事実であること、そして前向きな気持ちでいると自分も元気になって、もっと多くの人にワイズに関心を持ってもらえると思います。

この1年間足りないことが多い会長でしたが、クラブの皆様を支えられて活動できた事に心から感謝いたします。暑さが増してくるこの季節、皆さんが元気に過ごされて、楽しく次年度を迎えられますように!

.....

<5月 第1例会報告>

日時：2016年5月12日(木) 19時～

場所：三宮ターミナルホテル六甲の間

出席：ワイズ 11, ネット1, ゲスト3, ビジター0 合計15名、

出席：ワイズ 11, ネット1, ゲスト3, ビジター0 合計15名、

ゲスト紹介：入会候補者、高見宏さん、安倍広隆さん、廣瀬会長ご紹介、国際ボランティア王思慧さん、東(ひがし)恭子ワイズのご結婚を祝してクラブからお祝いカードと金一封を贈呈し、メネットとして東 善仁さんが紹介された。

卓話では、2015年12月に中国南京で開催された「日中韓 YMCA 平和フォーラム」について、神戸 YMCA ユース委員でもある廣瀬猷児神戸ポートクラブ会長から報告がなされました。報告では当フォーラムでのユースの交流の様子を写したプレゼンテーションを交えつつ、YMCAでも比較的新しい取り組みである



の様子を写したプレゼンテーションを交えつつ、YMCAでも比較的新しい取り組みである



平和フォーラムがユースにとって刺激的であったこと、またユースが未来志向で平和を築いていこうという思いに至ったことが紹介されました。質疑応答では

は現在日本と中国が国際(東 恭子・善仁夫妻)的に困難な状況にあることや、中国のYMCA特有の問題を交えた意見交換が繰り広げられ、神戸ポートらしい理想と現実の両方に立脚した活発な議論が行われました。現在神戸

YMCAの三宮新会館が改築中のため、ユースとワイズが会える機会が減少しているため、このようにユースの活動について知ったこともワイズ活動のモチベーションに繋がりました。

<5月第2例会記録>

日時：2016年5月26日(木) 19時～

場所：神戸市勤労会館4階408号室

出席：井内、大野智、大野勉、小田、郡、鈴木、水野、山崎、山田、9名 司会進行：水野雄二ワイズ

1)5月第1例会出席：ワイズ 11, ネット1, ゲスト3, ビジター0

合計15名、本日、井内、小田、山崎さん出席。井上ワイズは同時刻開催の福)神戸YMCA 福社会理事会出席、細見ワイズは神戸西クラブ出席でメイクアップ成立。

出席率：11+(メイクアップ 5名)÷20(在籍会員)=80.0%

2)5月活動報告の件

*5月3日淡路の新たなまねぎ到着 226箱完売。必要経費除く純収益 130,200円はクラブファンド入金。

*5月8日神戸YMCA130周年記念礼拝、神戸教会にてクラブより6名出席。

*5月14日全国YMCA一斉街頭募金：神戸関係は16～18時大丸付近4か所にて51名参加、ボランティアリーダー、専門学校生、高等学院生等合計51名中ワイズは12名、ポートからは4名参加で、合計174,840円が与えられ、全国一斉集計では、72か所1012名参加174,840円になったと報告有。

3)6～8月クラブ例会予定

*6月第1例会、9日(木)三宮ターミナルホテル六甲の間、

1年間の反省評価。次期に向けて(活動計画・共通理解)

- *6月第2例会、23日(木) 神戸市勤労会館 408室
- *7月第1例会、14日(木) 三宮ターミナルビル六甲の間
卓話 大本山須磨寺小池管長、須磨、須磨寺の歴史、よりよい生き方についてお話をしていただく。
- *新年度キックオフ、会長交代式バッジ交換、2名入会式、部長公式訪問、EMC事業主任・主査
- *7月第2例会、28日(木) 神戸市勤労会館 303室
- *8月第1例会、27日(土) 神戸真生塾納涼大会たこ焼き
- *8月第2例会、25日(木) 神戸市勤労会館 408室

4)今後の予定

- *六甲部次期準備役員会 5月28日(土) 大野智恵次期会長、廣瀬献児次期国際交流主査
- *神戸YMCA総会 5月31日(火) 18時半~神戸市教育会館
- *六甲部第3回評議会 6月18日(土) ユースプラザ KOBE・EAST クラブより8名出席予定
- *西日本区代議員会、25日(土) 廣瀬会長出席予定
- *西日本区大会、6月25日(土)~26日(日) 松下IMPホール(ホテルニューオータニ大阪) 大野智恵、大野勉、小田、鈴木、山田、5名出席、物品販売予定。
- *DBC 東京むかでクラブ特別例会: 8月15-17日東京YMCA野尻キャンプ場

- *2016年度六甲部第1回評議会: 7月30日ラッセホール

5)今後の課題

- *東日本救援として20万円、熊本地震救援活動として5万円を西日本区宛、宮古教会へ5万円、神戸YMCA国際協力募金へ10万円、それぞれ送金した。
- *次期クラブ方針・活動計画、役割分担、ロースター校正チェック(入会者2名含)、誕生日祝い品は、スプーン、フォーク、マグカップ、を準備する。誕生日者に希望のものを選んでもらう。
- *大野勉次々期理事へのクラブ支援について:
おおよその必要経費を算出し、まず神戸ポートからの支援金を提示する。(その上で六甲部への協力要請)
- *連絡主事について: 井上総主事と相談(会長)
- *新会館完成後の例会の場所: 井上総主事と相談(会長)
- *例会への出席について: 出席を前提とし、やむなく欠席の場合は期日までに連絡をする。連絡のない場合は、当日の会費は会計に支払う。自己責任で!

- 6)ブリテン6月号: 5月30日(月) 原稿締切、6月3日(金) 発行、印刷、郵送。

<淡路島へ新タマネギ購入引き取り>

5月3日(火・祝) クラブの大切なファンとなる新タマネギの引き取りに淡路へ行った。その日は強い風だったが、絶好の天気、例年の集合場所、淡路SA観覧車のある

駐車場に集合。現在淡路在住の元アジア地域会長の奈良昭彦さんとも合流し、農家へ到着。選別から箱詰めまで毎年の作業故、慣れもあり、作業は順調に進んだ。快い汗をか



き、車6台に一杯になり、我々は日常生活から一時離れ、おいしい空気と土の香り、新緑を楽しめた。途中、五色浜山中腹の公園内(ウェルネスパーク)のレス

トランで昼食、日頃の楽しい出来事、近況をお互いに話し合えた一日でもあった。

(小田浩)

<六甲部準備役員会>

次期六甲部の活動のスタートとなる準備役員会が5月28日(土) 賀川記念館で行われました。

長井次期六甲部部長の部長方針・活動計画の説明の後、新旧役員の引継ぎ、情報交換を行い、次期事業主査に続いて次期クラブ会長の活動方針の発表がありました。

「楽しい交流と、やりがいのある奉仕活動で更なるクラブ活性化を図ろう。」との部長主題に沿う新たな試みとして、11月に開催予定の六甲部会では、各クラブの基幹活動の発表並びに各クラブのお家芸の相互発表会が予定されています。これは、各クラブの「良い活動」を知り、刺激し合うことで、クラブを活性化することが狙いです。「良い活動」がEMCにつながる、という考えを具現化するための第一歩となることでしょう。

日常的にも六甲部内の交流を更に進めていくために、「広報活動に力を入れる」という共通理解がなされました。また、評議会、部会、区大会で、クラブ外の方々との交流も大切にしてほしいとの意見もありました。

神戸ポートが2名の入会者を迎えるということ、次期EMC主査から発表していただ



きました。今後もEMCにも繋がる魅力的な例会やイベントを計画して、仲間を増やす努力を続けたいと思います。次期の活動に向け、着実に準備を進めていきましょう。

(大野智恵)

<石巻広域クラブチャーターナイト>

5月28日(土)石巻広域クラブが21名のメンバーと共に、スタートしました。東日本大震災で最も被害の大きかったと言われる石巻市に、ワイズメンズクラブが生まれたという事は、大きな意味をもちます。東京YMCAを中心とした全国のYMCA、ワイズメンズクラブが支援を行ってきた地に、ワイズの種が撒かれ、この5年で大きな実を結ん

だことになるのです。特筆すべきは、仙台青葉城クラブの清水弘一ワイズが、多くのメンバーの厚い信頼を得て、中心メンバーとして入会されたことです。「この人がいたから、みんな集まった」という声を聞きました。やはり、リーダーシップが大きな力です。ワイズ運動は、まだまだ、いや、もっともっと必要とされているのです。毎年、石巻へは、神戸ポートクラブからも支援を続けています。歌声広場、もちつき等、これからも続けていきたいものです。大野ベンもお祝いの歌を歌わせていただきました。以下、河北新報に掲載された記事を引用。

2011年10月、石巻市立町に「YMCAボランティアセンター」を設置。石巻地区に新クラブを設立する大きなきっかけとなった。石巻広域クラブは、県内では仙台市内の3クラブに続く4クラブ目。石巻地方を中心にした21人をメンバーに今年4月発足。会長には平井孝次郎氏（平孝酒造会長）が就任。地域の復興支援活動や子どもたち、若い世代の健全育成に努める。と加盟認証状伝達式には、全国各地のクラブ関係者らを合わせ約100人が出席し、新クラブの本格活動開始を祝った。平井会長は、「ワイズメンズクラブの基本的精神のもと、全力で頑張っていきたい。」決意表明をした。

(記・大野ベン)



石巻グランドホテルにて 新クラブバナー

<クアラルンプールより

熱い！！ではなく、暑い思いを込めて報告します。>

ポートクラブの、2名の新しいメンバーが加わってのスタートを心から嬉しく、前年度のご奉仕に感謝しながら、新しい年度に向けてエールを送っております。

私はこの地に来て、ようやく2カ月経ちました。暑さにもめげず、牧師館のある下町のごちゃごちゃした商店街を闊歩し、時には屋台村で小籠包をつまむ元気な日本人おばあちゃんをしています。

最初のイースター礼拝の風景です。KLJCF (クアラルンプール



日本語キリスト者集会)は独自の教会施設を持

っていないために、ゴスペルホールという場所を借りての午後4時からの礼拝です。退職されて10年のビザを取っ

てこの地に来られた夫妻、駐在のため来られている若い家族と子どもたち、出張中にホームページで見てちょっと立ち寄ってみた、等、毎週、様々な方約20~30名、それも超教派の皆様の出席によって礼拝が成り立っています。讚美歌も教団の讚美歌だけではなく、「リビングプレイズ」や「聖歌」もどこかで歌われるように配慮されており、それだけに、自由で開放的な礼拝のように感じられています。出席の皆様は、牧師の私より熱い！！です。この地では、牧師が信徒を支えるのではなく、いつも支えられています。それだけに感謝と喜びの毎日を過ごしています。KLJCF小さな群れですが、30年を経ながら、経済的にはかなり逼迫していますが、この地で、とても良い種を蒔いておられます。お祈りください。(記:丹羽和子 2016.5.30)

<お隣りさんクラブ例会訪問>

5/19(木) 19:00-20:30 於 新長田 細田地域福祉センター
当クラブの山田ワイズに同行し、神戸西クラブの5月例会に参加した。当日の卓話は、家庭養護促進協会橋本明事務局長から、保護者のいない児童、持病があり保護者から養育を放棄された児童、不適切な保護者のもとの要保護児童を、公的責任で社会的に養育・保護することを目的とする「社会的養護」についてお話があった。例会後の懇親会席上の質疑応答も含めて紹介する。

対象児童の数は平成25年度で約45千人、戦後ほぼ一貫しているが少子化を勘案した場合、18歳以下人口の約0.2%とその割合は相対的に増えており、経済的な先進国のありかたとして、国連からも速やかな対策を求められているとの事である。社会的養護には、神戸真生塾・真生乳児院のような「施設養護」と里親や養子縁組のような「家庭養護」があり、対象児童・乳児の割合は、前者86%、後者14%で、今回は後者についてのお話であった。実質上の親子関係として生活を共にしていくことは大変なことであり、特に家庭に受け入れた児童の「喪失感情」を中心にお話しされた。お世話を頂く家庭数に限りがあり、苦慮されているとのことであったが、天理教の有志が積極的にグループを構成して、対応していることにも触れられた。

(細見俊雄)

神戸YMCA マンスリーレポート

1. 創立130周年記念礼拝が5/8、神戸教会で持たれました。100名の参加がありました。
2. 熊本地震支援では引続きスタッフを派遣しています。
3. ワークショップ難民(難民事業本部と共催)が、6/8、22、7/6、20(18:30-20:00、青少年会館)で行われます。(参加無料。申込:241-7204 国際奉仕センター)